

学校パワーアップのための基本方針・各事業内容		
<p>児童が「分かる、できる、楽しい」と感じられる授業を目指し、授業改善を通して、一人ひとりの教師の授業力向上を図り、思考力・判断力・表現力等や情報活用能力等を育成する。人権尊重の理念のもと、児童理解に基づいた生活指導、「特別の教科 道徳」の授業を要とした道徳教育を充実させ、人間関係の中で育まれるコミュニケーション能力や規範意識の育成を図る。</p> <p>児童にとって安心・安全、落ち着いて学習できる環境を一層整備する。</p>		
学力向上マニフェスト	創造力あふれる教育の推進	未来を拓く子どもの育成
<p>教員の授業力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員の指導技術向上に関する資料を学校で統一して購入し、授業改善を図る。 <p>体験して学ぶ英語教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6年生が東京グローバルゲートウェイのプログラムに参加し、体験的に英語を学ぶ。 <p>ICT機器を活用した家庭学習と連動した学び</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭でも利用できるオンライン学習ソフトを導入することで、学校と家庭の連携した指導を進める。 <p>主体的に学ぶ調べる学習の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で取り組んでいる「調べる学習」に活用できる時事的な内容の雑誌を定期購読する。 	<p>児童の情報活用能力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内のICT機器を充実させ、タブレットPCを始め児童が活用する機会を増やし、情報リテラシーを高め、情報活用能力の育成を推進する。 <p>プログラミング的思考の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生以上でロボット教材を使用して、プログラミング的思考を育成する。 <p>伝統芸能に学ぶ</p> <p>落語家、狂言師などを招き、日本の伝統芸能に触れる機会を設定する。</p> <p>生活指導と連携した道徳教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笑顔・あいさつ運動を推進 ・地区公開講座に講師を招き、道徳教育の充実を図る。 <p>充実した学習環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語アドバイザーを追加配置 ・運動会日よけの整備 	<p>隅田川堤防プロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域と協力して、隅田川堤防に在来植物（カワラナデシコ）を植栽し、日本の原風景を再現する。 <p>○環境を守るために</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミミズコンポストを活用し、給食の残菜を再生する。 ・緑のカーテンや「かがやきの庭（4階テラス）」をやによる環境改善を学ぶ。 <p>○食育・健康教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康教育支援員を活用し、全学年における食育・健康教育を推進する。 <p>○命を育む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小動物を飼育することにより、動物愛護や生命尊重の気持ちを醸成する

令和2年度荒川区学力調査に関する結果（平均正答率：％）

区学力調査（全学年）

	1年		2年		3年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数
自校	77.8	83.3	88.3	85.0	75.1	76.3
区	75.0	82.8	88.0	84.1	79.3	78.3
区との比較	2.8	0.5	0.3	0.9	4.2	2.0
	4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数
自校	65.8	73.8	74.8	71.2	74.6	72.3
区	68.8	77.3	73.3	69.1	73.7	67.3
区との比較	3.0	3.5	1.5	2.1	0.9	5.0

令和3年度 学力向上マニフェスト

学校名 荒川区立汐入小学校

事業名	取組の内容及び目標 (昨年度の区学力調査等の結果・分析等を踏まえて)
教員の授業力の向上	【内容】 講師を招聘した校内研究授業、校内研修の実施、および教員の指導技術向上に関する資料を学校で統一して購入し、授業改善を図る。 【目標】 ・児童による学校関係者評価「6分かる授業」について肯定的評価が8割を超える。
体験して学ぶ英語教育	【内容】 東京グローバルゲートウェイに6年生が参加し、All Englishで行う様々なプログラムを体験することで、学校で学習した内容を実際に活用できるようにする。 【目標】 事前事後アンケートで、英語に関する肯定的評価の向上。
ICT機器を活用した家庭学習と連動した学び	【内容】家庭での使用できるオンライン学習ソフトを導入することで、家庭学習と連動させ、自ら学ぶ主体的な態度を育成する。 【目標】 オンライン学習ソフトの利用率を前年度に比べ向上させる。
主体的に学ぶ学習の推進	【内容】 時事的内容が掲載されている児童用雑誌を定期購読し、調べる学習の幅をひろげる。学校として取り組んでいる検定関係の長期貸し出し用書籍の購入。 【目標】 調べる学習への全児童参加。漢字検定・算数検定の実施。
あらかわ寺子屋	【内容】 各学年より継続的に復習を必要とする児童に対し少人数で実施。プリント、タブレットPCの「スマートスタディ」など活用した補充学習を行う。 【目標】 参加児童の東京ベーシックドリル診断テスト結果の向上。